

活動レポート

日本技術士会北海道本部

青年技術士交流委員会

文責：青年技術士交流委員会 副委員長 中村 和隆

青年技術士支援委員会 拡大委員会

下記の内容にて、青年技術士支援委員会 拡大委員会に北海道本部青年技術士交流委員会から 7 名（参加者：藤井(web)、高橋、笹森、中村、津田、鎌足、河本(web)）で参加してきました。

◆開催日時：令和 7 年 6 月 21 日(土)
13:00～17:00(拡大委員会、交流会)
令和 7 年 6 月 22 日(日)
9:00～15:45(テクノツアー、懇親会)

◆開催形式：会議、交流会及びテクノツアー

◆開催場所：川崎教育文化会館及び
チバニアン

◆開催方法：対面形式
web 形式(拡大委員会、交流会)

以下にその内容をご報告します。

1. 拡大委員会議事(6 月 21 日)

拡大委員会では、青年技術士支援委員会 統括本部委員及び各地域本部 委員長が出席し、2024 年度の活動報告及び 2025 年度予算の審議がなされ、賛成多数により可決されました。議事に関する確認事項に関して質問及び意見が出され、活発な議論がなされました。

2. 各地域本部交流会(6 月 21 日)

拡大委員会後の交流会では、各地域本部から活動報告がありました。各本部の報告では、地域活性化のための活動など、各本部の地域に根差した活動が報告されました。北海道本部からは、昨年 10 月に開催された全国大会(札幌・北海道)を中心に、毎年実施している小学校への出前授業などについての報告を中村が行いました。

特に全国大会の青年イベントに関しては、テクノ

カルツアーやワークショップ内容などについて、当日の写真を交えながら詳細に報告しました。



写真-1 中村副委員長からの活動報告

次に各地域本部の遺産紹介プレゼン対決が行われ、北海道は笹森副委員長が発表しました。自然遺産として「知床」、産業遺産として「日本最古のコンクリート電柱」(函館市)、歴史遺産として「鮫様」(石狩市)を紹介しました。プレゼン対決ということで参加者からの投票がありました。残念ながら、1 位を取ることはできませんでしたが、ユーモアあふれる発表で会場の笑いをとる発表となりました。



写真-2 笹森副委員長からの遺産紹介プレゼン

交流会の最後に恒例行事として、拡大委員会に初めて参加するメンバーからの自己紹介がありました。拡大委員会に初めて参加される方の大半は、昨年の全国大会に参加されていましたが自己紹介を通じて、改めて全国の仲間に加わることになった貴重な機会となりました。

交流会後は、立食形式の大懇親会が開催され、各地域本部の仲間たちと色々な対話をしました。後半ではくじ引きによりグループ分けを行い、各地域本部から一問ずつご当地ネタのマニアックな三択クイズが出題され、グループごとに話し合いながら解答しました。そのマニアックなクイズに関する簡単な解説を各地域本部（北海道は津田幹事）からしてもらうことで新たな知見を得るなど、全国の参加者と交流を深めることができました。



写真-3 交流会後の懇親会の様子

3. テクノツアー(6月22日)

テクノツアーでは、千葉県市原市にあるチバニアン(地磁気逆転地層)を見学しました。この地層は、約77万年前に起きた最後の地磁気逆転現象前後の連続的な海底堆積層が、地上で観察可能であり、白尾火山灰層によって視覚的に見やすく、かつ年代が特定されており、当時の環境変動を復元できる微化石や花粉化石も良好に保存されている、地球上で稀有な地層です。

そのため、令和2年1月17日に国際地質科学連合の理事会において、市原市田淵の地磁気逆転層を含む地層「千葉セクション」を、地質年代に示す更新世前期と中期の国際境界模式地とすることが承認されました。

地質年代を区分する地層が見られることは世界中

でも稀有なことであり、地層の成り立ちなどを学ぶ機会となりました。



写真-4 地磁気逆転地層

4. おわりに

昨年の全国大会に続き、全国の技術士と二日間にわたり交流会、テクノツアーを通じて深い交流をすることができました。

このような全国の技術士と交流できるイベントに参加することで、異業種、世代を超えた技術士との対話により、高いモチベーションを持った技術士から知識、考え方や対話力など多くの刺激を受けることができました。

技術士として継続研鑽を続けていくためには、普段と違う刺激を受けることが重要であり、それは自ら進んで受けるべきと考えます。

特に若い技術士は、技術士としての資質向上やモチベーションを高めるためにも、全国の技術士と交流できる場面へ積極的に参加してみてください。あわせて、我々青年技術士交流委員会の活動にも参加してもらえると嬉しいです。



写真-5 テクノツアー後の懇親会の様子